

# 庄内の風 ②

恵み豊かな大地

澄んだ空気、清らかな水、そして肥よくな大地が育んだ数ある中から庄内町ブランドを紹介いたします。

まずはじめは「庄内米」です。庄内平野のほぼ中心に位置する庄内町は、日本一の良食味米生産地として漫画「美味しんぼ」第一巻でも紹介されたほど全国的に知られています。特に、特別栽培米「スペシャルコシヒカリ」は、生産者のこだわりとつややかで香り立つお米として人気を集めています。

また、その日本一美味しいと言われている米を使用した「地酒」や「もち」は、庄内町を代表するブランドです。

そのほかにも、月山のブナの原生林からわき出した天然の恵みをそのまま詰めたミネラルウォーター「ブナの水音」、特別飼料で育てられた低コレステロール高品質の「庄内豚」、新鮮な農作物で作った「漬物」をはじめ、素材を活かした新感覚の「浅漬け」が全国に出荷されていま



す。この浅漬けの商品の中には、南三陸町産のメカブとオクラ・山芋を使用した商品「ねばねば」も開発され、好評発売中です。

トルコキキョウやストックなどの「花き」や、大自然からの贈り物「山菜」も有名です。

これらの特産品は、町内で開催されます産業フェアでも味わうことができます。皆さんで庄内町ブランドをご賞味してみたいはかがでしょうか。

## 庄内町の物産展

11月3日(金) 志津川地区産業フェア (庄内町余目地区の産業団体を中心とした出店)  
11月12日(日) 歌津地区産業フェア (庄内町立川地区の産業団体を中心とした出店)

## 43年、5万キロの道



夢大使

さとう 佐藤

けい 啓さん  
(東京都)

夢大使  
リレー通信  
⑤

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。  
今回は、首都圏で有名な美容師で、作家の佐藤啓さんです。

東北海道から三陸道に乗り継いだ高速を石巻の先、河北インターで降りる。そのまま国道45号を北上川のうねりにハンドルを任せて北進し柳津で別れる。横山峠を登りつめ、黒崎を左に駆け上がると、いきなり紺碧の海と空が「ドーン」と視界に広がる。  
帰った・・・志津川湾だ！  
オーイ、帰ってきたぞー！  
必ずここで叫ぶ。毎回だ。  
小五までは歌津の名足、母が美容院を開業し父がソ連から戻ってからは志津川で暮らした。タツロウ君やマサカツ君たちと一緒にだった。

私の中の二つの故郷が今ひとつになった。不思議なことが起きるもんだが、自分にとって両親がまた一緒になったみたいで、こんなに嬉しいことはない。

しかし、過ごした日々は合わせてたったの十四年。生きた時間の二割強に過ぎない。しかもこの値はどんどん小さくなってゆく・・・だのこの故郷が心を占める割合は年齢と共に大きく膨らむ。故郷って何だろ・・・。

きっと誰の心にも必ず在る、いちばん不思議で特別な場所だ。

ふるさととは・・・山  
ふるさととは・・・川  
ふるさととは・・・海  
ふるさととは・・・人  
そしてきつと、ふるさととは母・・・おふくろだ。  
(上京して43年、片道487キロを約50回以上は往復した。地球の一周を軽く超えてしまった。たぶんこれが「ふるさと」の力だと、今しみじみ思う。)